ワーカーズ winds

最終号 Vol.54
◆発行責任者
労働協同組合グリーンコープ
福祉ワーカーズ・コレクティブ連合会理事会
◆編　集
福岡市博多区博多駅前1丁目5の1
博多大博通ビルディング10F
TEL:092-482-4166　FAX:092-472-9455
2019年3月現在 所属人数 2,255人

18年間の連帯の歴史を胸に、あらたなステージへ!!

労働協同組合グリーンコープ福祉ワーカーズ・コレクティブ連合会は 2018年度をもって発展的解散をします

2018年10月21日にオールグリーンコープのワーカーズ74団体が加入する連合会が設立され、「一般社団法人グリーンコープ・ワーカーズ・コレクティブ連合会」がスタートしました。そして、目指してきた地域福祉をオールグリーンコープのワーカーズの仲間と、全ての人が共に生きる地域へと進めていくステージが準備されました。

受けて、私たち労働協同組合グリーンコープ福祉ワーカーズ・コレクティブ連合会は、第六期を最後に発展的解散をし、ともに集ったワーカーズが新たな一歩を踏み出します。

福祉ワーカーズの連帯を掲げ、連合会として歩みを進め

私たち福祉ワーカーズ連合会は、在宅福祉を担うワーカーズの連帯組織として2001年6月に設立しました。その後、2010年に子育てサポートワーカーズを仲間に迎え、2011年の再編総会を経て、連絡会として集っていた配食ワーカーズが加入し、続いてケアマネワーカーズが、そして今年、福祉用品ワーカーズの加入を受け現在23ワーカーズ、2200名余のワーカーで構成する組織となっています。そして、その時々にそれまでを振り返り、今後を見据えて自分たちのあり方について意見交換を行なってきました。

オールグリーンコープワーカーズ連合会の実現に向けて、思いを表現しながら

その中には、折々に表現されてきた次のような思いがありました。

「グリーンコープに集うワーカーズは、成り立ちや職種はそれぞれに違っていますが、グリーンコープという絆は大切にしてきています。今後に向けては、例えば同じ拠点を中心に異業種同士の連携ができ、これからもお互いの信頼関係を構築しながら、それぞれの特徴と利点を生かし広範囲で縦横無尽に連携していくことが考えられます。まずは、異業種間のワーカーズと出会い、交流を深め、異業種ワーカーズを横断するオールグリーンコープワーカーズ連合会の実現に向けて進んでいきます。」その上で、まずは内実からと福祉関係ワーカーズの連帯に取り組んできた今、一般社団法人グリーンコープ・ワーカーズ・コレクティブ連合会が設立され、私たちが目指してきた地域福祉をオールグリーンコープのワーカーズの仲間と、全ての人が共に生きる地域へと進めていくステージが準備されました。

様々に重なり合った時代を、ともに歩んでいく柔らかな組織として

これまでの18年間に福祉ワーカーズ連合会の果たしてきた役割は本当に大きいものがあります。事業と運動を担い検討を重ねた時代、人材育成やさらなるスキルアップを目指し全体での研修を組み立て実施してきた時代、ワーカーズの根幹について話し合いを重ねた時代、様々に重なり合った時代、その時々の課題を捉え、各県での業態別の事業や地域福祉への進捗状況が違う中でも、連帯を掲げともに歩んでいく柔らかな、また心のよりどころとなる組織として存在してきました。そして、これまで、折々に関わってきた多くの仲間たちや、2200名余のワーカーとともに歩んできました。その役割を大きく評価するとともに、これからは、私たちワーカーズがグリーンコープに発し、グリーンコープを貫き、グリーンコープを越えて地域に湧き出すような時代を創っていきたいと考えます。

これまで培ってきた連帯を胸に、未来へ!

労働協同組合グリーンコープ福祉ワーカーズ・コレクティブ連合会はさらなる志を掲げ、発展的解散を選択することを第10回理事会で確認し、2019年6月2日(日)に解散総会を行ないます。ここに、18年間の歴史に幕を閉じることとなりますが、これまで培った連帯を胸に、一般社団法人グリーンコープ・ワーカーズ・コレクティブ連合会に集うワーカーズとして未来へともに進んでいきましょう!!

解散のご挨拶

福祉ワーカーズ連合会理事長
江戸良子

「夢ヲかたちに」を合言葉に1995年、グリーンコープに初めて家事支援ワーカーズが誕生しました。

その後、「住み慣れた街で、誰もが安心して暮らしていける」地域に根ざした運動を展開するために、そしてワーカーズ・コレクティブという新しい働き方の確立と介護の社会化を目指し、2001年6月、ワーカーズの連帯組織として、福祉ワーカーズ連合会を設立しました。そして、18年を経過した今、ワーカーズの理念の継承や運営・事業や経営についての相談の場として、また人材育成や研修を進めるなど、その時々に役割を果たし、子育て、ケアマネジャーや配食・福祉用品ワーカーズで構成する団体へと成長しました。

2018年10月には、私たちが将来的な連合会の姿として想定していた風景が形となった一般社団法人グリーンコープ・ワーカーズ・コレクティブ連合会が設立されたことで、連合会のこれまでを振り返り、これからについて真剣に協議を重ね、福祉ワーカーズ連合会は発展的解散を選択しました。6月2日に解散総会を開催し、オールグリーンコープのワーカーズとともに、人々の夢が実現できる豊かな地域を創っていくために、さらに進んでいきたいと思います。これからもよろしくお願いします。

出会えてよかった
ワーカーズ♡ そして
理事・事務局の皆さん♡
これからも よろしく
お願いします♡♡

江戸 良子 理事長

わからないことばかりで
名ばかりの理事でしたが
ワーカーズのこと 福祉のこと
を勉強させていただきました。
ありがとうございました。

福川 圭子(子育て)

人生100年時代
ワーカーズで
ずーっと(できるかぎり)
現役です

近藤 ヨウ子(配食)

川越 陽子(宮崎)

ワーカーズの活動を通して
県をこえ たくさんの仲間が
できました。よすます団結
力を強く 仲間を増やして
いきましょう。

永井 加代子(広島)

ありがとう そしてこれからも

さらに連帯の輪を拡げ ともに進んでいきましょう!!

福祉ワーカーズ連合会は
ワーカーズが元気に活動する
為の源だったと思います。
今までの経験を 今後の働
きに活かしていきます。
これからも皆んなで頑張りましょう

別府 靖代(鹿児島)

ここに、私の願う福祉のカタチがある!と
とびついた たすけあいワーカーズ。
サービスをご利用くださる方も ケアを担う
私たちワーカーも、お互いさま、で町づくり。
で 20年…。これからも
ますます の いろんな しあわせのカタチを
創っていきたいと願っています。

矢野 美津枝(山口)

～2018年度連合会理事メンバー～

福祉ワーカーズ連合会で
たくさんの事を皆さんと
共有できたことを活かし
ワーカーズの活動をさらに
発展して行きたいと
思っています。

武津 昭彦(大分)

福祉ワーカーズ連合会が
18年の時を終えて 一社
になる事は 新しい希望へ
向かう事だと思います。皆と
一緒に進んで行きましょう。

上田 千鶴(福岡)

連合会最後の年に
再び理事ができて幸せ
でした。グリーンコープの
ワーカーズよ 永遠にと
祈ります♡

江島 真弓(熊本)

福祉ワーカーズ連合会で
たくさんの元気と知恵をいた
だきました。
各県でいきいきと活動されて
いるすてきな仲間たちとの
出会いに感謝!!

三根 麻理子(佐賀)

グリーンコープ ワーカーズ。
新しい風で
繋ぎ合う

髙木 博子(長崎)

「ワーカーズ WindS」が運ん
でくれる"風"はいつも紙面
の中で感じました。
グリーンコープに出合えたこと
ワーカーズ に出合えたこと
感謝 しています。

野上 ひとみ(長崎)

県の枠を越えて
ワーカーズの活動を支えて
きた連合会。発展的
解散後の将来を
楽しみにしています。

須賀 五月(熊本)

～編集後記～

わたしたちらしく、活き活きと暮らし助け合う地域を創る風を、そしてワーカーズ運動の風を表現して15年が流れました。ワーカー一人ひとりにやわらかな風となって届けることができたのであれば幸いです。

連合会の歴史とともにワーカーズwindsも、この54号で役目を終えることとなりますが、さらに新たな風を興すべく次のステージに進んでいきましょう。これまでのご愛読に感謝します。

ありがとうございました。

連合会事務局
A・K

年末カンパ報告

私たちワーカーが1年間無事ワークを終えることができた感謝の気持ちを形にしている年末カンパは、今年で12年目となり、連合会としては最後の取り組みとなりました。

2018年度は総額256,000円でした。
今回は下記の3団体にお届けしています。

*「通所支援事業所ぱずる」(鹿児島県姶良市)
・発達に心配のある子どもや障がいのある子どもたちの児童発達支援をされています。

*「地域ネコ活動ボランティア福ネコの会」(熊本市)
・地域の飼い主のいない猫の保護やケア、里親探しのボランティア活動をされています。

*「レスキューさくら会」(熊本市)
・地域の飼い主のいない犬や猫の保護やケア、里親探しなどのボランティア活動をされています。

ワーカーズのゆめと地域福祉への思いを繋いだ軌跡 ～歴代の理事長と共に振り返る～

福祉ワーカーズ連合会の次なるステップ！。寂しい気持ちもありますが、みんなで手を取り合ってきた日々を忘れずに、又力強く歩み出したいと思います！

私が理事長を引き受けた２０１２年度からの４年間は大変意義深い日々でした。２０１３年度に労働協同組合の設立に皆で取り組み、ワーカーズを見つめなおす機会にもなりました。これからも震災支援などに寄せる「福祉ワーカーズならではの想い」を大切にしていきたいと思っています。

第五代理事長
内村　紀子さん
(2012～2015年度)

私が理事長だった連合会は、ワーカーズの主体の確立が最大の課題でした。前任の菊堂さんが社福の協議の場に参加できる仕組みに整えてくださったので、きちんと意見を言えるワーカーズになるための機会が与えられました。そして現場のスキルを上げていくことが重要となり、内部監査や研修の充実を図ることに時間をかけました。新たに生まれるワーカーズにとっても心強かったのではと思います。連絡会とは違う連合会の役割を理事全員で考え悩んだ時代でした。

第三代理事長
後藤　美穂さん
(2004～2007年度)

２００１年６月３０日に設立した福祉ワーカーズ連合会が、ワーカーズの理念を活かした福祉分野のワーカーズ連帯組織として県を超えてワーカーズの運動と事業に取り組まれ、日々前進しておられることを初代理事長として何より嬉しく思っております。

１９９６年に市民参加型の地域福祉を進めるため、「福祉活動組合員基金」の設置に総力を挙げて取り組み、組合員が毎月１００円を拠出し合う仕組みが実現したことは印象的でした。今後、更に異業種のワーカーズが連帯し、その働き方が社会的に理解され「住んでる街を住みたい街に」するために、未来を見据えた頑張りに期待しています。

初代理事長
市吉　七海さん
(2000年度)

第22号より
(2011年3月1日発行)

連合会の理事長在任中は、たすけあい（在宅福祉）ワーカーズだけの連合会に子育てや配食のワーカーズに加入を呼びかけ、連帯の幅を広げようとした４年間でした。社福の副理事長として、抱樸館福岡や、松島りすの森保育園の開設を目の当たりにできたことも得難い経験でした。連合会に集い日々地を這うようにして働く約２０００名のワーカーへの思いはいつも心の中にありました。

福祉ワーカーズ連合会を発展的に解散し、次のステージに立とうとしている私たち。どこまで行けるでしょうか。

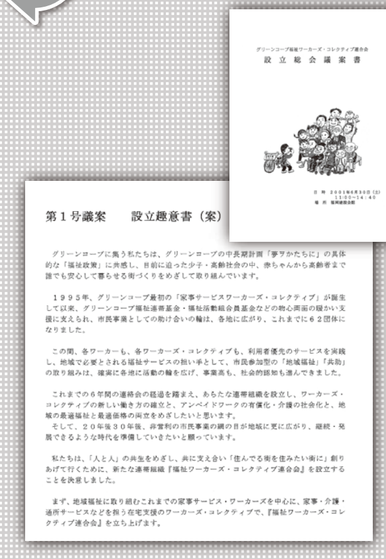
第四代理事長
江島　真弓さん
(2007～2011年度)

私が連合会に関わっていたのは、連合会が設立されて間もない時期でした。各県にも福祉を荷うワーカーズが次々と誕生し、事務局もその対応に追われる多忙な日々でした。ワーカー間の情報交換を目的としたこの機関紙が発行され、また、連合会とグリーンコープ生協が協同して「社会福祉法人煌（きらめき）」をつくった時代でもありました。

その後、私は公的、私的にも行き詰り、任期途中で辞め、多くの方々に迷惑をかけることとなりました。

これからも人々が安心して暮らしていける地域福祉を力強く進めていかれることを願っています。

第二代理事長
菊堂　君代さん
(2001～2003年度)



～福祉ワーカーズに思いを寄せて～

家事サービスから始まった私たち。最初の頃はワーカーズの大先輩の迫力？思いの熱さに、圧倒されたり、憧れたり。そして歳月は過ぎても、グリーンコープのワーカーズってやっぱりいいなと思う日々です。

福祉ワーカーズ連合会最後の理事長となりましたが、本当に皆さんに支えて頂いて、理事会ではお互いを認め合い、思いを共有することが出来ました。感謝でいっぱいです。ありがとうございました!!

第六代現理事長
江戸　良子さん
(2016～2018年度)

◆◆ 福祉ワーカーズのあゆみ ◆◆

1995年
福岡に初めて家事サービスワーカーズ誕生！
「あじさいの会」「ひだまり」

2000年 介護保険制度施行
ワーカーズとして介護保険事業に取り組む。

2000年 6月
「グリーンコープ福祉ワーカーズ・コレクティブ連合会」
ワーカーズ・コレクティブという新しい働き方の確立、地域に根ざした運動を展開するための連帯組織として設立。

2003年 3月3日
「社会福祉法人煌（きらめき）」
地域福祉をさらに社会的に発展・継続させるためにグリーンコープ生協と協同して設立。

2004年 11月1日
福祉ワーカーズ連合会機関紙ワーカーズw-nds創刊号発行。
「ワーカーズの風を地域に」
届けたいという思いを載せて！

2005年 2月
「介護保険制度見直しについての提言書」を厚生労働省に届ける。

2007年 12月
「介護保険制度の見直しにむけた提言書」を厚生労働省、民主党に届ける。

2008年 4月
「社会福祉法人煌」が「社会福祉法人グリーンコープ」に改称。

2010年
子育てワーカーズ加入。

2010年 11月
「介護保険制度改定にむけた意見書」を厚生労働省に届ける。

2011年
「ワーカーズの理念」策定。

2011年 3月11日
東日本大震災発生。カンパ・人的支援に取り組み、各県のワーカーが交代で現地での後方支援を行なった。

2012年 8月
宮城県で「2級ホームヘルパー養成講座」開講。就労支援につなげる。

2013年
配食ワーカーズ加入。
ケアマネワーカーズも順次加入。

2013年 6月
「労働協同組合グリーンコープ福祉ワーカーズ・コレクティブ連合会」設立。
グリーンコープで策定した労働協同組合（ワーカーズ・コレクティブ）法に基づき、グリーンコープを超えて広く社会に一般化された存在になることを目指す。

2013年 11月
「茂木健一郎講演会」開催。連合会で研修事業に取り組む。

2014年 3月
「介護保険制度改定にむけた意見書」を厚生労働省へ届ける。

2016年 4月
熊本地震発生。翌日には支援物資を積んで熊本へ。カンパ・人的支援に取り組む。
現在、東日本・熊本も合わせて災害支援カンパ金として募っている。
福祉用品ワーカーズ加入。

2018年 3月
ワーカーズの理念をもとに「ワーカーズの栞」作成。

2018年 10月
「一般社団法人グリーンコープ労働協同組合連合会」設立。
生協系と福祉系のワーカーズが集結し豊かな地域づくりに向けグリーンコープ運動の更なる前進と発展を目指す。

2019年 2月12日
「一般社団法人グリーンコープ・ワーカーズ・コレクティブ連合会」として法人登記完了。

2019年 6月2日
「労働協同組合グリーンコープ福祉ワーカーズ・コレクティブ連合会」解散総会。
次のステージへ!!